

既設のシステム照明を活用して直管LED光源でLED化 快適な明るさと省エネを少ない廃材で効率よく実現しました

● LED照明器具



● 物件概要



一般社団法人 日本自動車連盟
北海道本部・札幌支部
北海道札幌市豊平区月寒東1条15丁目8-1

HotaluX

● 主な納入器具

<p>71台</p> <p>直管LEDランプ 40形 LD40T50/16/26G13-H1 定格消費電力:15.7W</p>	<p>26台</p> <p>直管LEDランプ 20形 LD20T50/10/15G13-H1 定格消費電力:10.0W</p>
<p>71台</p> <p>LEDダウンライト 100形 MRD10013(RP)BW3/N-1 MRD10013(RP)BW1/N-1 定格消費電力:7.8W</p>	<p>5台</p> <p>LED防雨防湿ライト SXM-LE262738N 定格消費電力:15.6W</p>

札幌市南東部、札幌ドーム至近に位置する同支部は、北海道の道路交通を支えるJAFの拠点です。館内には、非常灯や煙感知器を組み込んだシステム天井に蛍光灯照明器具が設置されていましたが、器具を全面的に更新するには、大規模な工事と既設器具の全面撤去が必要となる課題がありました。そこで既設照明器具の筐体を活用し、蛍光灯安定器を撤去する配線工事を実施。光源を蛍光灯から直管LED光源へ切り替えることで、安全性を確保しながらLED化を実現し、ダウンライトや屋外灯を含め、明るく省エネな照明環境を整えることができました。



札幌支部 総務課長 梁川 幸様

JAFは事業計画の中で「会員・社会に支持され続けるJAFを目指す」ことを定め、ESG経営の実践を掲げています。事務所や施設の省エネ化(LED照明導入など)もその一つで、LED化は単なる設備更新ではなく、環境負荷低減・電気代削減・会員サービスの持続可能性確保に直結する施策と考えております。

今回、特徴的な器具本体をそのまま活かしてLED化できたことで、廃材を抑え、環境への配慮にもつながりました。改修後は館内が明るくなり、活気ある雰囲気になり満足しています。